

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	土木部河川課	氏名	野々内裕一
派遣先 団体名	上意東公民館		

① 研修の日時

日 程	午 前	午 後
6月16日（日）	京羅木山、星上山散策	京羅木山、星上山散策
6月22日（土）	ほたる祭準備	ほたる祭り運営
7月24日（水）	なかよし公民館	なかよし公民館
7月25日（木）	1日目：スポーツ交流	2日目：木工、料理
9月21日（土）	京羅木山ハイキングコース整備	京羅木山ハイキングコース整備
11月23日（土）	農業祭準備・運営	農業祭準備・運営
11月24日（日）		

② 研修の内容

京羅木山を散策し植物を観察する。
 ほたる祭の準備、運営をする。
 なかよし公民館の準備、運営をする。
 京羅木山のハイキングコースを整備する。
 農業祭の準備、運営をする。

③ 研修の感想

派遣先概要

上意東公民館は、松江市東出雲町上意東地区にあり、NPO、自治会、各種法人と連携し、公民館の枠にとどまらない活動をされています。

上意東地区は120戸程度の集落で高齢化が進んでいますが、全国ブランドの畑地区の干し柿、木工、柿渋染めなどの手仕事を通じ、外向けのアピールに積極的に力を入れておられる地域です。公民館や地域のイベントでは多くの高齢者が出てこられ、それぞれの方の得意分野やできる範囲で何かお手伝いをされています。

京羅木山、星上山散策

京羅木山と星上山の間には知る人ぞ知る縦走路があります。途中には戦国時代の山城跡もあり、尾根を挟んだ広瀬側からも散策路が整備されるなど、広域にわたり盛り上げていく気運が高まっています。

主に参加者の立場でしたが、シダ植物の解説を聞きながら散策するものでした。松江市在住の植物に詳しい方をお招きし、山城のシダ植物の観察や生態の解説をしていただきました。まったくの素人ですが、わかりやすく教えて頂き、今まで気づかなかった魅力を発見しました。身近なところにもおもしろいものはあるのです。

ほたる祭

ほたる祭は、公民館横を流れる意東川に生息するほたるを愛でるイベントです。準備では、東出雲地域のさまざまな施設からイスやテーブルを借りて地域の人総出で、会場設営をします。夜は出店の店員として参加し、焼き鳥を焼きつつ、売り子もさせて頂きました。

普段の業務ではまずできない、貴重な経験をさせていただきました。



木工教室の作品展示即売



祭のにぎわい

なかよし公民館

なかよし公民館は、東出雲地域の3小学校から希望する4年生が参加し、さまざまな活動を通じて交流を図るイベントです。東出雲地域の4公民館からスタッフが集まり、さまざまな交流の場を提供していきます。渡しは、地域の主要な産業である農機具製造メーカーの工場見学の引率、木工で鳥小屋製作、薪でご飯を炊く手伝いをしました。意東川では地域の方が見守る中、今の時代に川遊び体験をしました。とてもいい思い出になったと思います。仕事柄、川は身近ですが、川遊びとなるとなかなか出会えない光景でした。ちょうど暑いさなかでしたが、子供たちはとても元気よく、しっかり楽しんできたと思います。



鳥小屋製作



川遊び

京羅木山ハイキングコース整備

京羅木山山頂で、毎年行われる祭に先立ち、山頂への登山道の除草や伐開を行いました。私は登山客が使う杖作りを担当しました。地域の方のうち、十分に動ける方は登山道整備を、足腰の弱い方は杖作りなどの軽作業を行う分担をされていました。高齢者も体調に応じて社会参加の機会がたくさんあります。



作業前ミーティング



登山道整備

農業祭準備・運営

多くの行事がある上意東地区の、年内の仕上げとして農業祭があります。農業祭は公民館の文化活動と農家の収穫祭が合わさった行事です。島根町から牡蛎を売りにこられるなど、地域振興活動をする人たちの交流の場ともなっています。農業祭ではほたる祭同様、会場準備と出店の店員として参加しました。私のいた出店では売り上げが過去最高を記録したとのことで、結果が出るとやはりやりがいを感じます。



ほたる祭と農業祭では、サークル活動の一環で島根大学の学生も参加しており、イベントを手伝ってくれていました。学生自身も活動を楽しみにしており、地域のファンになってくれているかもしれません。

感想

私が参加した公民館活動では、意図的に、どこかに昨年とちょっと違うことを取り入れるようにされており、何年か経ち気がつくと、ずいぶん違う活動になっていることもあるようです。地域のリーダー層に伺うと、固定客を飽きさせず、新しい客層を開拓することを目指すため、いいものは残しつつ、無理のない範囲で新しい血（人、考え方など）を取り入れていく柔軟さを保つように意識しておられました。一方、数少ない若手は毎年同じ方が楽でいいということも言っておられました。

人口減少、高齢化という現状と向き合いながら、人が少なくても人を呼び込み地域のファンを作る、そういう気概を持った地域もある、ということを教えていただきました。私自身の地域活動を振り返ると、とりあえず体裁が整うよう昨年と同じことをしておくか、という場面がままあります。今後、自分自身の地域活動でも、無理をしないところで何ができるか、考えさせられました。

終わりに、この研修を通じてお世話になった、森廣館長さん、津森主事さんをはじめ、上意東地区のみなさんにこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

④ その他特記事項

公民館によると、毎年研修に来て欲しいとのことでした。

（注1）研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

（注2）研修終了後、報告会を開催します。